

安全データシート(SDS)



日本タルク株式会社

改訂日: 2023年6月30日

1. 化学物質及び会社情報

| | |
|--------------|-------------------|
| 製品名 | BST、GTH-125H |
| 化学品の名称 | 焼成タルク(エンスタタイト) |
| 会社名 | 日本タルク株式会社 |
| 住所 | 大阪府大阪市浪速区幸町3-1-17 |
| 電話番号 | 06-6567-2735 |
| FAX番号 | 06-6567-2730 |
| 担当部門 | 品質管理部 |
| 推奨用途及び使用上の制限 | 工業用 |

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

| | |
|-----------|----------|
| 爆発物 | 区分に該当しない |
| 可燃性ガス | 区分に該当しない |
| 可燃性エアゾール | 区分に該当しない |
| 酸化性ガス | 区分に該当しない |
| 高压ガス | 区分に該当しない |
| 引火性液体 | 区分に該当しない |
| 可燃性固体 | 区分に該当しない |
| 自己反応性化学品 | 区分に該当しない |
| 自然発火性液体 | 区分に該当しない |
| 自然発火性固体 | 区分に該当しない |
| 自己発熱性化学品 | 区分に該当しない |
| 水反応可燃性化学品 | 区分に該当しない |
| 酸化性液体 | 区分に該当しない |
| 酸化性固体 | 分類できない |
| 有機過酸化物 | 区分に該当しない |
| 金属腐食性物質 | 分類できない |
| 鈍性化爆発物 | 分類できない |

健康に対する有害性

| | |
|--------------------|-----------------|
| 急性毒性(経口) | 区分に該当しない |
| 急性毒性(経皮) | 分類できない |
| 急性毒性(吸入:ガス) | 区分に該当しない |
| 急性毒性(吸入:蒸気) | 区分に該当しない |
| 急性毒性(吸入:粉じん) | 分類できない |
| 急性毒性(吸入:ミスト) | 分類できない |
| 皮膚腐食性・刺激性 | 分類できない |
| 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 | 区分2 |
| 呼吸器感作性 | 分類できない |
| 皮膚感作性 | 分類できない |
| 生殖細胞変異原性 | 分類できない |
| 発がん性 | 区分1A |
| 生殖毒性 | 分類できない |
| 特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) | 分類できない |
| 特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) | 区分1(呼吸器、免疫系、腎臓) |

環境に対する有害性

| | |
|----------------|--------|
| 誤えん有害性 | 分類できない |
| 水生環境有害性 短期(急性) | 分類できない |
| 水生環境有害性 長期(慢性) | 分類できない |
| オゾン層への影響 | 分類できない |

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 危険有害性情報(コード)

| |
|--------------------------------------|
| 危険 |
| 強い眼刺激(H319) |
| 発がんのおそれ(H350) |
| 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器、免疫系、腎臓の障害(H372) |

注意書き(コード)

| |
|---|
| P201、P202、P260、P264、P270、P280、P305+P351+P338、P308+P313、P314、P337+P313、P405、P501 |
|---|

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分
化学名

化学物質
エンスタタイト 80～90%
シリカ(結晶質、非晶質を包含した二酸化ケイ素) 10～20%

CAS番号
官報公示整理番号(化審法)
危険有害成分

エンスタタイト:13776-74-4/シリカ:7631-86-9
エンスタタイト:1-468/シリカ:1-548
粉体のため粉じん障害防止規則の対象となるが、特定の分類・番号はない。
アスベストは検出限界(0.1%)以下。
不純物として結晶質シリカが最大8%含有する。

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移動する。微温水で鼻腔を洗い、うがいをする。
必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合
眼に入った場合

清水と石鹼で洗い流す。
清水で十分に洗眼する。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し洗浄を続けること。必要に応じて医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

水でうがいをし、直ちに医師の診断を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤
使ってはならない消火剤
特有の危険有害性
特有の消火方法
消火を行う者の保護

消火剤の限定はない。周辺火災の種類に応じた消火剤を用いる。
特になし
火災等の場合は、毒性の強い分解生成物が発生する可能性がある。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具
および緊急措置
環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化方法・機材
二次災害の防止策

漏洩区域は、関係者以外立入りを禁止する。
粉じんを吸入しないように防じんマスクを着用し、眼への接触や吸入を避ける。
環境中に放出しないよう注意する。
粉じんが飛散しないように、すくい取ったり、掃除機で吸い取る。水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。
プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策
局所排気・全体換気
安全取扱い注意事項

長期多量吸入でじん肺になる可能性があるため、粉じんを吸入しないように防じんマスクを着用し、出来るだけ風上から作業するよう心掛ける。
局所排気、全体換気を行うことが望ましい。
取扱い後はよく手を洗うこと。容器等を破損させないように注意する。
吸入は避けること。粉じんを発生させないようにする。

保管
技術的対策
混触危険物質
保管条件
容器包装材料

水濡れや高温多湿での貯蔵は避ける。
圧迫による凝集防止のため高積み避ける。
データなし
直射日光や高温多湿を避け、換気の良い屋内倉庫等で保管する。
湿った床等に直接置かず、パレット上で保管する。
一般的には、紙袋や樹脂袋が推奨される。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度
許容濃度
日本産業衛生学会
設備対策
保護具
呼吸器の保護具
手の保護具
眼の保護具
皮膚及び身体の保護具
衛生対策

$E = 3.0 / (1.19Q + 1)$ E: 管理濃度 (mg/m³)
Q: 当該粉じんの遊離けい酸含有率 (%)

0.03mg/m³(吸入性結晶質シリカ)
粉じんが作業場所を汚染しないように、設備の密閉化・局所排気装置の設置または全体換気を適正に行うことが望ましい。

防じんマスクを着用すること。
一般の保護手袋で可。
一般の保護眼鏡で可。
一般の作業着で可。
取扱い後はよく手を洗い、うがいをする。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

形状、色など

固体、白色粉末

臭い

無臭

pH

弱アルカリ性

融点・凝固点

データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲

データなし

可燃性

不燃性

爆発下限界及び爆発上限界

爆発しない

引火点

不燃性

自然発火点

不燃性

分解温度

データなし

pH

8～10（5%水溶液）

溶解度

水、アルコールおよび有機溶剤に不溶

n-オクタノール・水分配係数

データなし

蒸気圧

データなし

密度及び／又は相対密度

比重(密度) 3

粒子特性

板状粒子、平均粒子径は製品により異なるがD50=4 μm～40 μm

10. 安定性及び反応性

安定性

化学的に安定。フッ化水素酸には溶ける。またアルカリ溶融でも溶解する。

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

水濡れ

混触危険物質

データなし

危険有害な分解生成物

データなし

11. 有害性情報

急性毒性

経口

データ不足のため分類できない。

経皮

データ不足のため分類できない。

吸入

(ガス)

GHS定義における固体である。

(蒸気)

GHS定義における固体である。

(粉じん、ミスト)

データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性・刺激性

データ不足のため分類できない。

眼に対する重篤な損傷・刺激性

ウサギを用いた眼刺激性試験(OECD TG 405)において、沈降シリカ(CAS番号: 112926-00-8)適用による刺激性はみられなかったとの報告がある(SIDS (2006)、ECETOC JACC (2006))。また、形態の異なる沈降シリカ又は非結晶性シリカ(CAS番号: 112945-52-5)をウサギに適用した試験の報告が複数あり、眼刺激性はみられなかったとの報告や、軽度の結膜炎、軽度から中等度の結膜発赤、角膜混濁がみられたとの報告があるが、いずれの症状も回復性であったとの報告がある(SIDS (2006)、ECETOC JACC (2006))。以上より区分2とした。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性

データ不足のため分類できない。

皮膚感作性

データ不足のため分類できない。

生殖細胞変異原性

データ不足のため分類できない。

発がん性

主成分であるエンスタタイトとしてはデータ不足のため分類できないが、結晶質シリカを最大8%含有することがあるため、区分1Aとした。

生殖毒性

データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

ヒトにおいて、石英、クリストバライトでは珪肺症が報告されている。また、実験動物においても石英、クリストバライトで線維形成性があることが報告されており、そのほか、石英では自己免疫疾患、慢性腎疾患及び無症状性の腎変性、溶融シリカで金属ヒューム熱のような回帰熱の報告がある(ACGIH (7th, 2006))。したがって、区分1(呼吸器、免疫系、腎臓)とした。

誤えん有害性

データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

知見なし

残留性・分解性

知見なし

生態蓄積性

知見なし

土壌中への移動性

知見なし

オゾン層への有害性

知見なし

水生環境急性有害性

知見なし

水生環境慢性有害性

知見なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物
汚染容器及び包装

一般の産業廃棄物として処理可能。ただし、地方自治体の廃棄規則に従うこと。
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類
海上規制情報
航空規制情報

該当しない
該当しない
該当しない

国内規制

陸上規制情報
海上規制情報
航空規制情報

該当しない
該当しない
該当しない

特別安全対策

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

緊急時応急措置指針番号

該当しない

15. 適用法令

労働安全衛生法

第57条の2 名称等を表示・通知すべき危険物及び有害物(結晶質シリカ)
第57条の3 リスクアセスメントを実施すべき危険有害物(結晶質シリカ)

粉じん障害防止規則

じん肺法

労働安全衛生規則

第577条の2 作業記録等30年保管対象のがん原性物質(結晶質シリカ)

作業環境測定法

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

その他、地方自治体の関連法規制

16. その他の情報

参考文献

記載内容は現時点で入手できる資料・情報・データに基づいて作成していますが、記載のデータに関してはいかなる保証をなすものではありません。従いまして、日本タルク株式会社はこの情報により生じたいかなる損害、被害に対しても責任を負いません。

また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いをする場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。尚、記載内容は新しい知見により改訂されることがあります。